

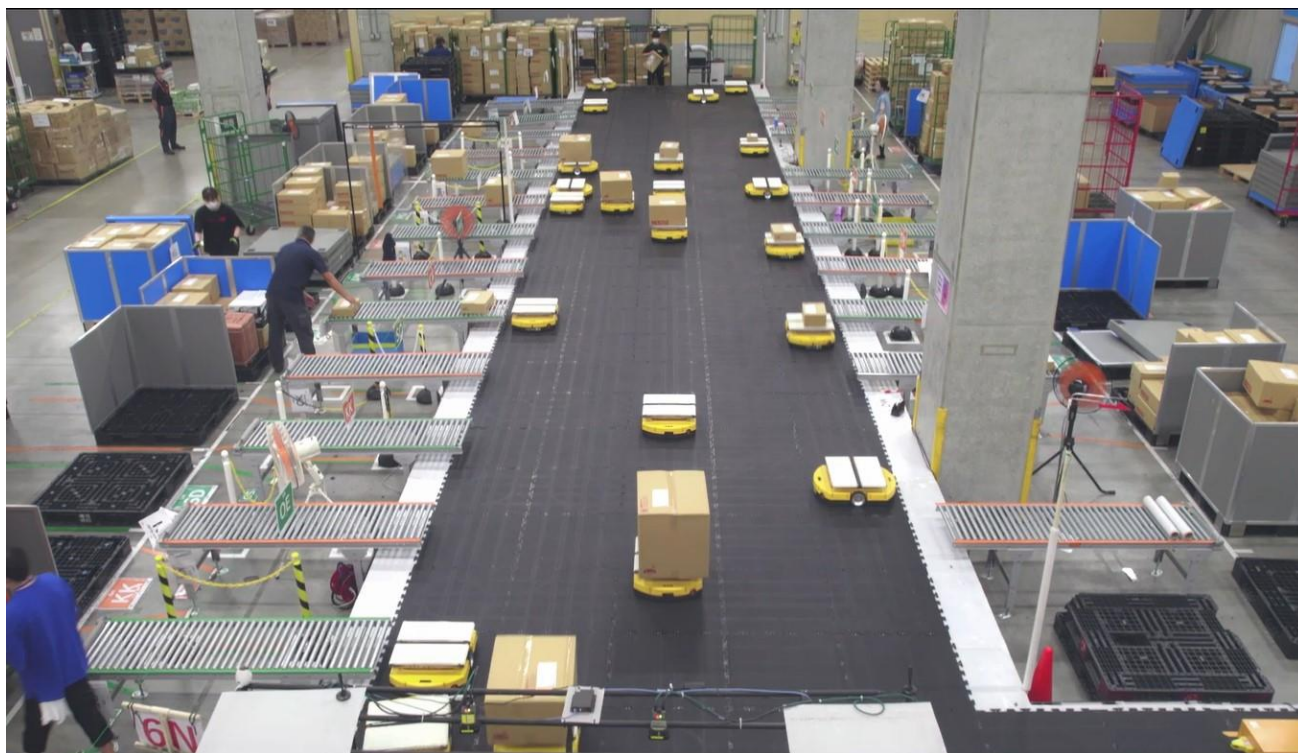
2022年11月18日

プラスオートメーション株式会社

報道各位

箱物仕分け向けパッケージプラン「t-Sort ライト for ハコモノ」を発売開始 ～現場ニーズを網羅しローコストも実現～

物流ロボティクスサービス「RaaS」を展開するプラスオートメーション株式会社（本社所在地：東京都港区、代表取締役：山田 章吾、以下「+A」）は、これまでの方面別仕分けの導入実績と知見をもとに、ケースソーティングに特化したパッケージプラン「t-Sort ライト for ハコモノ」を発売します。今年9月に発売した「t-Sort ライト for アパレル」に続く、用途別パッケージプランの第2弾となります。箱物仕分けの特性を踏まえ、ロボットはクロスベルトタイプの「t-Sort cb15」「t-Sort cb30」の2機種を用意、さらに必須機材のフリーローラーコンベアを月額料金内で標準装備し一括提供します。これにより、運送、食品などの卸、EC事業者の方面別仕分けをはじめ、様々な物流現場において次世代型ロボットソーター「t-Sort」が活用しやすくなり、業界全体の自動化推進に貢献します。



先行導入事例：SBS リコーロジスティクス株式会社物流センター関東（荷主：株式会社 MonotaRO）

YouTube 参考動画：<https://youtu.be/4uNKkHxC0x0>

SBS リコーロジスティクス（以下「SBS」）の物流センター関東（以下「同センター」）では、ハコモノ・方面別仕分けの
高効率なオペレーションを導入済みです。SBS の同センターでは EC 貨物を時間当たり 1800 個/時間を超える処理能力
で方面別に仕分け、高性能スキャナ※により仕分けコードと伝票番号を同時に読み取り、貨物の通過情報を+Hub に
て管理する仕組みも実装しております。+A は t-Sort RaaS の有効活用により、SBS ホールディングス様のシェアリング
ソーティングセンター高度化へ、共に取り組んでおります。

※：伝票番号同時読み取り機能については t-Sort ライト for ハコモノでは、オプション対応となります。

【t-Sort ライト for ハコモノについて】

箱物仕分けに特化させ、サービス内容をミニマム化したパッケージプランです。RaaS の特徴である初期費用ゼロ円で導
入でき、導入後の効果検証から改善、保守点検、さらなる活用支援へのサポートを付帯しています。

- ✓ ロボット台数（12 台/18 台の 2 パターン）に応じて 1,000~1,600pcs/時間で、~30 間口の仕分けが可能
- ✓ トレーニングを含み導入期間はわずか 5 日、現場オペレーションを止めることなくスタート
- ✓ 現場環境の変化に合わせて活用できるよう、最低契約期間を 6 ヶ月に設定
- ✓ ロボット 1 台あたり月額 4.6 万円~という低価格を実現
- ✓ 箱物の仕分けに必須のフリーローラーコンベアを、10 間口まで月額料金内で標準提供（11 間口以上はオプション）
- ✓ スキャナはウェアラブルリングスキャナを採用（オプションで伝票コード一括読みも可能なスキャナに変更可能）

▼「t-Sort ライト for ハコモノ」についての詳細はこちら

<https://plus-automation.com/tsort-light-hakomono/index.html>

【t-Sort cb15、t-Sort cb30 について】

「t-Sort」とは、小型の無人搬送車（AGV）の一種であり、倉庫内の物品を搬送し、少人数・短期間・大量の仕分け
作業を実現するロボットソーターです。従来の固定式ソーターと比較し、高い柔軟性（ロボット台数増減で処理能力調
整可能、導入後レイアウト変更・移設が可能等）を持つことに加え、圧倒的な短リードタイム（据付不要により、初回
ご相談から 1~2 カ月で導入完了）と省スペース（固定式ソーター対比 50%以下）を実現します。

【t-Sort cb15】
最大積載重量：15kg



【t-Sort cb30】
最大積載重量：30kg



以上

<プラスオートメーション株式会社について>

+Automation は、テクノロジーと物流を融合させ、物流現場にさまざまな"+A"を届けるために生まれた会社です。
"+A"には、業務の効率化だけでなく、その先にあるやり甲斐や、よろこびなどの"+α"も込めています。

+A は「倉庫の自動化をもっと身近に、簡単に。」をサービスコンセプトに、サブスクリプション型の物流 RaaS（Robotics
as a Service）を提供するリーディングカンパニーです。あらゆるテクノロジーを活用し、これまでにないサービスを物流に
携わるすべての人と共に創っていきます。

本件に関する問い合わせ先：プラスオートメーション 礎

Email：info@plus-automation.com